

# 人頭模型の作者は

## 津山藩内の人物だった!?

### 細工職人 鈴木常八の足跡を追って

東京大学が所蔵する、幕府医官桂川家由来の人頭模型。オランダ商館長から贈られた模型を、寄せ木造りで再現した製作者は津山藩の細工職人だった!? 近年の研究で明らかになった事実を、当時の時代背景を交えて職員がご報告します。



人頭模型（複製・原資料は東京大学医学部所蔵）

#### I 津山藩主松平康哉とその時代

館長 小島 徹

#### II 『解体新書』の翻訳者たち

学芸員 田中美穂

#### III 津山藩医宇田川玄随の蘭学への着手

学芸員 近都兼司

#### IV 細工職人 鈴木常八について

津山郷土博物館学芸員 東万里子

■ 日時：令和5年 **1月29日(日)** 13:30~15:00

■ 会場：津山洋学資料館 GENPOホール(津山市西新町5)

■ 申し込み方法：洋学資料館へ**お電話(☎0868-23-3324)**でお申し込みください。**1月14日(土)受付開始**、先着順で定員(40名)になり次第、締め切ります。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、来館される際はマスクの着用、入館時の手指の消毒と検温にご協力をお願いいたします。感染の拡大状況によっては、開催を中止いたします。